

(4)両岸交流

1945年 10月25日	台北市で、台湾投降受諾式を挙行。国民政府の台湾省行政長官公署が発足、陳儀が長官に就任し、台湾接收の責任者に
1947年 2月28日	台湾で「228事件」発生、陳儀・台湾省行政長官はその後免職
12月25日	大陸で中華民国憲法が発効
1948年 5月10日	国民政府、大陸で動員反乱鎮定次期臨時条項を公布し、憲法を停止
1949年 5月20日	台湾、戒嚴令施行
10月1日	中華人民共和国成立
12月	中華民国政府、台北遷都を決定し、蒋介石が台湾入り
1952年 4月28日	日華平和条約署名
1958年	人民解放軍による金門島砲撃(8月に最も激化)
1971年 10月26日	国連総会で中華人民共和国政府の代表を国連において中国の唯一の合法的な代表として、蒋介石の代表を追放することを決議
1972年 9月29日	日中国交正常化 日台断交
1975年 4月5日	蒋介石総統、死去
1978年 5月20日	蔣経国・行政院長、総統に就任
1979年 1月1日	米台断交 中国、「台湾同胞に告げる書」で三通(通郵、通商、通航)を提案
4月10日	米、「台湾関係法」発効
12月10日	高雄で美麗島事件発生
1982年 7月	蔣経国総統、「三不政策(大陸とは接触せず、交渉せず、妥協せず)」を提起
1986年	民進党結党
1987年 7月15日	台湾、戒嚴令解除
11月	台湾地区住民の中国親族訪問解禁
1988年 1月13日	蔣経国総統死去、李登輝副総統が総統就任
10月	中国、国務院台湾事務弁公室(国台弁)設立
1991年 1月	台湾、行政院大陸委員会設立
2月23日	台湾、総統府に国家統一委員会を設置し、「国家統一綱領」を策定
3月	台湾、海峡交流基金会(海基会)設立
5月1日	台湾、動員反乱鎮定次期臨時条項を廃止
12月	中国、海峡兩岸関係協会(海協会)設立

1992年 3月	海基会、海協会の両会による初の事務会合を北京で実施
7月	台湾、兩岸間の経済・文化・人的往来等を定めた「台湾地区與大陸地区人民關係條例」(通称:兩岸人民關係條例)を公布
10月28-30日	両会、香港事務会合を実施
11月	両会、事務ルートで後の「92年コンセンサス」を確認
1993年 4月27-28日	両会、初のトップ会談(台湾側:辜振甫、中国側:汪道涵)をシンガポールで実施
1995年 1月30日	江沢民・中国国家主席、台湾問題で8項目提案(江八点)
4月8日	李登輝総統、中国に6項目提案(李六条)
6月7-11日	李登輝総統、米国訪問し、以後両会による対話中断
7月-11月	人民解放軍、公海上で断続的にミサイル演習
1996年 3月23日	人民解放軍、8日から台湾海峡でミサイル演習開始、米が空母派遣 台湾初の民選総統選挙実施、李登輝氏当選
1998年 4月	両会、事務対話再開
6月30日	クリントン米大統領、「3つのノー」(一中一台、台湾の国際機関加盟、台湾独立を支持しない)
10月14日	北京で2回目の辜振甫・汪道涵会談を実施
1999年 7月9日	李登輝総統「二国論」発言、以後、両会事務対話中断
2000年 2月21日	中国国台弁、「台湾白書」発表(台湾への武力行使の要件に「台湾が統一交渉を無期限に拒否した場合」を追加)
3月18日	民進党の陳水扁氏が総統選挙勝利
5月20日	陳水扁総統、就任式で「5つのノー」発表(在任中の独立宣言・国名変更等をせず)
2001年 1月1日	台湾、金門・馬祖経由の「小三通」を開放
3月23日	銭其シン・中国副首相、「大陸と台湾は共に一つの中国に属する」と発言
12月	中国、WTO加盟
2002年 1月1日	台湾、WTO加盟
1月28日	銭其シン・中国副首相、民進党に対話呼びかけ
8月3日	陳総統、「一辺一国」発言(大陸と台湾は、別々の国であるとの主張)
2003年	SARS流行
1月	台湾の航空機、春節チャーター便として香港経由で上海に初乗り入れ
11月27日	台湾で「公民投票法」成立。中国は強く反発
2004年 3月20日	陳水扁総統、僅差で総統に再選される 公民投票を初めて実施するが、投票率が規定の50%を超えず不成立
10月10日	陳総統、「92年香港会談」を基礎にした中国との対話再開呼びかけ
2005年 1月	春節直航チャーター便、初めて経由地無しで運行。中国航空機も台湾に初乗り入れ

3月14日	中国、反国家分裂法を制定。台湾は強く反発
4月29日	訪中した連戦国民党主席、胡錦濤・共産党総書記と60年ぶりの国共首脳会談
5月12日	訪中した宋楚瑜親民党主席、胡錦濤・共産党総書記会談
9月	親民党と中国共産党、上海で「兩岸民間エリートフォーラム」を開催
2006年 1月1日	陳総統、「積極管理・有効開放」の新対中経済政策方針を発表
2月27日	台湾、国家統一委員会を運用停止、国家統一綱領の適用を停止
4月	国共両党、北京で「兩岸経済貿易フォーラム(第1回国共論壇)」を開催
7月	兩岸直行チャーター便拡大(祭日、緊急医療、特定人道)
10月	国共両党、海南島ボアオで「兩岸農業協力フォーラム(第2回国共論壇)」を開催
12月	国共両党、北京で「兩岸青年フォーラム」を開催
2007年 4月	国共両党、北京で「兩岸経済貿易文化フォーラム(第3回国共論壇)」を開催
10月15日	胡錦濤・中国国家主席、台湾に話し合いを呼びかけ
2008年 3月22日	国民党の馬英九氏が総統選挙勝利。「台湾名義での国連加盟」及び「中華民国名義での国連復帰」を問う公民投票は両案とも成立せず
4月12日	蕭萬長次期副総統、ボアオで胡錦濤・中国国家主席と会談
5月20日	馬英九政権発足、行政院大陸委員会主任委員に賴幸媛・前立法委員(台湾団結聯盟)、海峡交流基金会董事長に江丙坤・国民党副主席
5月28日	吳伯雄国民党主席、台湾の与党主席として初めて中国訪問
6月3日	国台弁主任に王毅・元駐日大使、海協会会長に陳雲林・前国台弁主任
6月12-13日	9年ぶりに両会(海基会、海協会)トップ会談が再開。台湾の海基会・江丙坤董事長と中国の陳雲林・海協会会長が北京で初会談(第1回江陳会談)し、兩岸直航チャーター便週末運航、大陸住民の台湾旅行開放に署名
7月	兩岸直航チャーター便週末運航、大陸住民の台湾旅行開放を実施
8月1日	北京オリンピック開会式に、吳伯雄・国民党主席、連戦・国民党名誉主席、宋楚瑜・親民党主席等が出席
9月	馬英九総統、メキシコ紙インタビューで「兩岸関係は『二つの中国』ではなく、一種の特別な関係であるが、国と国の関係ではない」と発言
11月4日	陳雲林・海基会会長、台湾を初訪問し、兩岸窓口トップ会談(第2回江陳会談)を初めて台湾(台北)で開催。「海峡兩岸空運取決め」、「海峡兩岸海運取決め」、「海峡兩岸郵政取決め」、「海峡兩岸食品安全取決め」に署名。兩岸三通が実現 陳会長は同訪問期間中、馬英九総統、王金平・立法院長、賴幸媛・大陸委員会主任委員、連戦及び吳伯雄・国民党名誉主席、宋楚瑜・親民党主席等台湾側要人と会見 民進党は陳雲林来台に抗議し大規模デモを実施
11月21日	連戦・元副総統、台湾から過去最高クラスとして APEC(リマ)出席、胡錦濤・中国国家主席と会談
12月20日	国共両党、上海で「第4回経済貿易文化フォーラム(国共論壇)」を開催
12月31日	胡錦濤・中国国家主席、台湾に6項目の呼びかけ(胡六点)
2009年 2月15日	台北の故宮院長、初訪中し、北京の故宮院長と初会談
3月2日	北京の故宮院長、初訪台

4月26日	第3回江陳会談を南京で開催。「海峡兩岸金融協力取決め」、「海峡兩岸空運補充取決め」、「海峡兩岸共同犯罪取締及び司法共助取決め」の合意文書に署名、「大陸資本の台湾投資に関するコンセンサス」声明を発表。銀行の支店相互設置に向けたMOU、空運の定期便化、司法共助が実現
5月17日	福建省廈門で「第1回海峡フォーラム」開催
5月18日	WHO 総会(WHA)に台湾が「中華台北」名義によりオブザーバー資格で37年ぶりに参加
5月21日	民進党の陳菊・高雄市長、「2009年高雄ワールドゲームズ」の広報活動のため、北京・上海を訪問。北京で「中央政府の馬総統」と発言
6月1日	呉伯雄・国民党主席、「南京中山陵(孫文陵)完成80周年記念式典」に参加
6月30日	大陸資本の台湾直接投資が一部解禁
7月11日	国共両党、中国湖南省長沙で「第5回兩岸経済貿易文化フォーラム(国共論壇)」開催。台湾から教育部次長等、また民進党の元立法委員らも参加
8月30日	ダライ・ラマ14世、民進党自治体の招きで台湾南部訪問、台風災害慰問
10月1日	中国建国60年
11月16日	連戦・元副総統、APEC(シンガポール)出席し、胡錦濤・中国国家主席と会談
12月22日	第4回江陳会談を台中で開催。「海峡兩岸農産品検査検査協力取決め」、「海峡兩岸漁船船員労務協力取決め」、「海峡兩岸標準計量検査認証協力取決め」に署名
2010年 5月	兩岸双方の旅行主管機関傘下の出先事務所が相互開設 上海万博開会式に、連戦国民党名誉主席、カク龍斌・台北市長等が出席
6月29日	第5回江陳会談を重慶で開催。「海峡兩岸経済協力枠組取決め(ECFA)」と5つの同取決め付属文書、「海峡兩岸知的財産権保護協力取決め」に署名
7月10日	国共両党、中国広州で「第6回兩岸経済貿易文化フォーラム(国共論壇)」を開催
9月2日	蔡武・中国文化部長、民間名義で訪台。中国現職閣僚の訪台は12年ぶり3人目
11月13日	連戦・元副総統、APEC(横浜)出席し、胡錦濤・中国国家主席と会談
12月20日	第6回江陳会談を台北で開催。「兩岸医薬衛生協力取決め」に署名
2011年 1月6日	ECFA 事後協議に関する「兩岸経済協力委員会」発足
2月22日	「兩岸経済協力委員会」第1回会合を台北で開催
5月6日	国共両党、中国成都で「第7回兩岸経済貿易文化フォーラム(国共論壇)」を開催
6月8日	「兩岸協議成果検討会議」が台北で開催
6月28日	中国人観光客の個人旅行での訪台受け入れ開始
7月24日	カク龍斌・台北市長、上海を訪問し、双都市フォーラム開催
10月17日	馬総統、2期目の選挙公約発表で「将来的な『兩岸平和取決め』の可能性」に言及
10月20日	第7回江陳会談を台北で開催。「兩岸原子力発電安全協力取決め」に調印、「投資保障取決め交渉の推進に関する共同意見」、「兩岸産業協力の強化に関する共同意見」を発表
11月1日	「兩岸経済協力委員会」第2回会合を杭州で開催
11月11日	連戦・元副総統、APEC(ハワイ)出席し、胡錦濤・中国国家主席と会談
2012年 1月14日	馬英九総統再選
3月22日	呉伯雄・国民党名誉主席、北京で胡錦濤・共産党総書記と会談し、「一国二区(兩岸は一つの国、二つの地域)」に言及

4月1日	呉敦義・次期副総統、ボアオで李克強・中国副総理と会談
4月26日	「兩岸經濟協力委員会」第3回会合を新北市で開催
5月20日	馬英九政権二期目発足
7月28-29日	国共両党、ハルビンで「第8回兩岸經濟貿易フォーラム(国共論壇)」を開催
8月9日	第8回江陳会談を台北で開催。「海峡兩岸投資保障促進取決め」、「海峡兩岸税関協力取決め」に署名。「人身の自由と安全の保障に関するコンセンサス」を発表
9月7日	連戦・元副総統、APEC(ウラジオストク)出席し、胡錦濤・中国国家主席と会談
9月27日	海峡交流基金会董事長に林中森・前国民党秘書長
10月2日	行政院大陸委員会主任委員に王郁琦・前国家安全会議諮問委員
10月7日	謝長廷・民進党元主席、訪中し、戴秉国・國務委員と会見(民進党の訪中者として過去最高ランク)
11月	「92年コンセンサス」20周年
11月8-14日	中国共産党、第18回全国全国代表大会。党総書記に習近平
12月	「兩岸經濟協力委員会」第4回会合を広州で開催
2013年 2月	連戦・国民党名誉主席が訪中、胡錦濤・国家主席及び習近平・中国共産党総書記と会談
3月17日	中国国台弁主任に張志軍・前外務次官
4月8日	蕭萬長・前副総統、ボアオで習近平・中国国家主席と会談
4月26日	中国の海峡交流基金会会長に陳徳銘・前商務部長
6月13日	呉伯雄・国民党名誉主席訪中。習近平・中国共産党総書記と会談。「1つの中国の架構(一中架構)」を発言
6月21日	兩岸窓口トップ会談(第1回林陳会)を上海で開催。「兩岸サービス貿易取決め」署名
6月29日	民進党の謝長廷・元行政院長、香港を訪問し、中国社会科学研究院台湾研究所と学術会合開催
7月2日	カク龍斌・台北市長、上海を訪問し、双都市フォーラム開催
8月10日	陳菊・高雄市長、訪中し、天津で張志軍・国台弁主任と会談
10月6日	蕭萬長・前副総統、APEC(パリ)に初出席し、習近平・中国国家主席と会談 王郁琦・大陸委員会主任委員、APECに初同行し、張志軍・中国國務院台湾事務弁公室主任と初対面。中台の兩岸担当閣僚が初めて会い、官職で呼び合った
10月11-12日	上海で「第1回兩岸和平論壇」開催。(中国は民間政治対話と位置づけ)
10月26-27日	国共両党、中国南寧で「第9回兩岸經濟貿易文化フォーラム(国共論壇)」を開催
11月26日	陳徳銘・海峡兩岸關係協会会長、初来台。国民党籍の地方自治体首長らと会い、台湾企業を視察
12月	「兩岸經濟協力委員会」第5回会合を台北で開催
2014年 1月15-19日	林全・蔡英文(当時民進党前主席)事務所執行長、蔡派立法委員らと訪中
2月 11-14日	王郁琦・大陸委員会主任委員、南京・上海を訪問。台湾の現職閣僚の初の公式訪問。南京で、張志軍・国台弁主任と、史上初の兩岸担当相会談(第1回王張会談)を実施。非公式会談では「馬習会談」にも言及
2月27日	兩岸協議(第2回林陳会)を台北で開催。兩岸地震観測協力、兩岸気象観測協力取決めに署名
3月18-	兩岸サービス貿易取決めの強引な本会議送りに反対する学生らが立法院本会議場を占

4月10日	抛(ひまわり学生運動)。馬政権は、同取決めを当初案通り逐条審査・採決とし、学生と民進党等が求めていた兩岸取決め監督条例の制定に同意
4月10日	蕭萬長・前副総統、ポアオで李克強・中国国務院総理と会談
5月7日	宋楚瑜・親民党主席、北京で習近平・中国国家主席と会談。学生運動後の習近平と台湾要人の会談は初めてで、習近平は「兩岸の平和的發展は不変」と強調
6月7日	民進党の頼清徳・台南市長、上海訪問し、「台湾の前途は台湾の 2300 万人が決定」と発言
6月25-28日	張志軍・国台弁主任、訪台し、桃園県で王郁琦・大陸委員会主任委員と会談(第2回王張会談)。中国現職閣僚の公式訪台、国台弁主任の訪台はいずれも初。張志軍は朱立倫・新北市長(国民党)等のほか、陳菊・高雄市長(民進党)等と会見し、民進党とも交流。高雄では学生運動関係者が張志軍の車列にペンキをかけ抗議
8月5日	「兩岸經濟協力委員会」第6回会合を北京で開催
8月16日	張顯耀・大陸委員会特任副主任委員(副大臣級)が突如辞任(事実上の更迭)。台北地検は、張氏が大陸側に機密を漏えいした疑いで立件・捜査
8月31日	中国全人代常務委員会、香港の行政長官選出方法について、出馬要件を制限した上で、2017年から香港人民による選挙を実施する決定を発表
9月26日	習近平・中国国家主席、台湾の統一派団体との会見で「一国二制度で台湾問題解決」と発言 総統府、「一国二制度は受入れられない」と表明
9月28日	香港で、行政長官選挙に係る全人代の決定への大規模抗議活動発生(雨傘革命、セントラル占拠運動)
9月29日	馬英九総統、香港情勢に関し、「普通選挙要求を完全に理解し支持」と表明
10月10日	馬英九総統、国慶節演説で再度香港の抗議活動への支持を表明し、大陸に民主化を呼びかけ 中国国台弁、国慶節演説に対し「台湾がとやかく言うべきではない」と批判
11月9日	蕭萬長・前副総統、APEC(北京)に出席し、習近平・中国国家主席と会談。両者、「92年コンセンサス」を確認し、「一国二制度」「香港」には触れず
11月29日	台湾統一地方選挙で国民党が空前の惨敗
12月15日	兩岸企業家サミットを台北で開催、陳徳銘・海協会会長、龔清概・国台弁副主任等が出席
2015年1月12日	中国側、台湾海峡を縦断する新航路(M503)及び同航路と大陸沿岸都市を結ぶ3本の新航路の設定を発表。台湾側、一方的であり台湾海峡中間線に近いとして反発
1月29日	「兩岸經濟協力委員会」第7回会合を台北で開催
2月5日	7-9日、張志軍・国台弁主任、台湾の離島・金門島訪問し、王郁琦・大陸委員会主任委員と会談(第3回王張会談)が予定されていたが、2日前に突如延期発表。台湾側は、M503等の新航路問題が原因であると表明(M503はその後航路をずらし3/29から運用)
2月17日	夏立言・前国防部副部長が大陸委員会主任委員に就任。王郁琦・前主任委員は、前年8月に更迭した張顯耀・前副主任委員が不起訴となったことを受け引責辞任
3月4日	習近平・中国国家主席、政治協商会議台湾分科会で台湾政策方針の重要講話を発表、「『92年コンセンサス』の基礎がなくなれば『地動山揺』」と発言
3月8-10日	1月に就任した朱立倫・国民党主席、香港を訪問し、宴席で梁振英・行政長官と面会
3月28日	蕭萬長・前副総統、ポアオで習近平・中国国家主席と立ち話し、台湾の AIIB 参加意欲を表明(台湾、3月31日に参加意向書を提出するも創設メンバーにはなれず)
4月9日	民進党の趙天麟・中国事務部主任、海基会役員として訪中視察に同行

4月9日	蔡英文・民進党主席、「民進党の兩岸関係処理の基本原則は『現状の維持』」と発表
4月25日	カク龍斌・国民党副主席、訪中し、南京「大虐殺」記念館参観
5月3日	朱立倫・国民党主席、主席として初訪中し、国共両党が上海で開催した第10回兩岸經濟貿易文化フォーラム(国共論壇)に出席
5月4日	朱立倫・国民党主席、北京で習近平・中国国家主席と会談し、「『92年コンセンサス』とは、兩岸は共に一つの中国に属し、しかしその解釈は双方で異なるとの意」と言及
5月23日	張志軍・中国国台弁主任、金門島を訪れ、夏立言・大陸委員会主任委員と初会談(第3回兩岸担当相会談、第1回夏張会談)
6月4日	5/29～6/9 訪米した蔡英文・民進党主席は CSIS で講演し、①中華民国現行の憲政体制に沿う、②兩岸二十数年來の交流と成果を基礎とする、等の兩岸政策を発表。5日、米國務省報道官は「蔡英文との建設的な意見交換に感謝」と表明
7月1日	中国側、台湾人の訪中をノービザ化、一部で「台胞証」のカード化も開始。台湾側、「一方的措置」と反発するも撤回は求めず
	中国、新法「国家安全法」において「国家統一は台湾を含む全中国人の義務」と規定。台湾側、即日不満表明
8月17-19日	柯文哲・台北市長、上海市との「双城論壇」のため訪中。論壇開催に先立ち「92年コンセンサスを理解し尊重」、「兩岸は一つの家族」等と発言
8月25日	兩岸協議を大陸福州市で開催。兩岸二重課税防止・税務協力強化取決め、兩岸民航運輸安全・耐空協力取決めに署名
9月3日	連戦・元国民党主席、「抗日戦争勝利70周年」の記念式典及び軍事パレード出席のため訪中し、習近平・中国共産党総書記と会談
9月21日	大陸、訪中する台湾人向けに発行する「台胞証」を、紙冊子から IC チップ入りカードに全面切替
10月10日	馬英九総統、国慶節演説で、習近平・中国共産党総書記が提唱する「抗戦史にかかる兩岸の史料共有、史書共同編纂」に対し、「対等・互惠、文書全面公開、タブーなし、自由な研究、外国人の参加も可能」との台湾側原則を提示
10月14日	夏立言・大陸委員会主任委員、広州を訪れ張志軍・国台弁主任と会談(第4回兩岸担当相会談、第2回夏張会談)
11月7日	シンガポールにて、兩岸分治後初の中台首脳会談(馬英九・習近平会談)実施。同件は3日深夜に電撃的に発表された。両者は「兩岸指導者」として会い、署名事項や共同声明の発表はなく、馬英九は帰台前にリー・シェンロン星首相と私的に懇談した。習近平は「『92年コンセンサス』の歴史事実を認め核心的意味に同意すれば、如何なる政党とも交流の用意がある」と表明
12月25、27日	民進党総統候補の蔡英文・主席、政見発表等として「1992年の両会会談の歴史的事実を否認しておらず受け入れる」と表明
12月30日	「海峡兩岸民航運行安全・耐空協力取決め」発効 大陸委員会－国台弁間のホットライン開通、夏立言・大陸委員会主任委員と張志軍・国台弁主任が初通話
2016年 1月15日	台湾人アイドル・周子瑜が「中華民国旗」を手にしたことで中国に謝罪した「周子瑜事件」
1月16日	民進党の蔡英文氏が総統選挙勝利。民進党は同日行われた立法委員選挙でも史上初めて過半数を獲得
2月5日	夏立言・大陸委員会主任委員と張志軍・国台弁主任、春節を前に二度目のホットライン通

	話
2月15日	夏立言・大陸委員会主任委員と張志軍・国台弁主任、6日発生した台南地震に関し三度目のホットライン通話
2月25日	中国の王毅・外相、米 CSIS で「台湾の新為政者が自らの方式で、彼らの『憲法』が規定する『大陸と台湾は共に一つの中国に属する』との点を受入れるよう希望」と発言
3月5日	習近平・中国共産党総書記、全人代上海代表団会議で「『92年コンセンサス』の歴史事実を認め核心的意味に同意すれば兩岸には政治的基礎があり、良好な交流を保てる」と発言
3月17日	中国、2013年に台湾と断交したガンビアと国交回復
3月24日	蕭萬長・前副総統、ボアオで李克強・中国国務院総理と会談
3月26日	国民党主席補欠選で洪秀柱氏が当選し、習近平・中国共産党総書記から祝電
4月8、12日	ケニアで強制退去処分を受けた台湾人被疑者グループが中国に移送される 夏立言・大陸委員会主任委員と張志軍・国台弁主任は同件に関し四度目のホットライン通話
4月30日	マレーシアで検挙された台湾人被疑者グループが中国に移送される
5月6日	WHO 事務局、台湾に対し、「国連総会決議第 2758 号等の『一つの中国原則』に沿い」23日開幕の WHA へのオブザーバー参加を招待
5月20日	民進党の蔡英文政権発足、蔡英文は就任式で、①対岸と共同で地域発展議題に参加、②既有的政治的基礎の上に兩岸関係を継続、③中華民国憲法、兩岸人民関係条例等に依拠し兩岸事務を処理、などを発表 中国の一部学者は蔡発言を歓迎、国台弁は、蔡発言は「未完成の答案」とし、「92年コンセンサス」なくば兩岸の制度的交流の継続は困難である旨示唆 蔡政権の新大陸委員会主任委員に張小月・前外交部北米事務協調委員会主任委員、海基会董事長は空席
6月1日	馬英九前総統、講演のため15日の日帰り香港訪問を総統府に申請
6月4日	蔡英文総統、就任後初の天安門事件記念コメントをFBで発表、「大陸の政治制度に指図はしない」と表明
6月12日	総統府、馬英九前総統の香港訪問申請を却下
6月24日	カンボジアで検挙された台湾人被疑者グループが中国に移送される
6月25、29日	国台弁、兩岸の連絡メカニズムは中断している旨発表
7月1日	高雄海軍基地で台湾海峡内側方面にミサイル誤射、台湾側は海基会、大陸委員会を通じ大陸側に通報。大陸側からは受け取りに関するコメントなし
7月12日	南シナ海仲裁裁判裁定発表、台湾が実効支配する太平島は「岩」とされ、台湾は「受け入れない、(台湾に対する)法的拘束力なし」等大陸と同様の声明を発表
7月19日	中国遼寧省の団体ツアーバスが桃園市内で炎上、中国人客24名全員死亡 大陸側は海基会、大陸委員会等からの通報に対応、20日に関係者が来台
7月24日	蔡英文総統、米ワシントンポスト紙インタビューで「(92年コンセンサスに関し)北京の設定期限を受入れることはできない」と発言。
8月1日	邱志偉・民進党立法委員が香港トランジットの際台風の影響で遅延したが、香港税関は同立法委員の入境を拒否。
8月8日	ケニアで検挙された台湾人被疑者グループが中国に移送される
8月8日	中華郵政総局、兩岸海運の速達業務の一時停止を発表
8月12日	郝柏村・元行政院長が退役将校などと共に香港を訪問

8月13日	福建省龍岩市にて、台湾人ツアー客を乗せた観光バスが土石流に巻き込まれる事件が発生。台湾人観光客1名が死亡、3名が重傷
8月14日	第4回海峡青年節が福州市にて開催。龍明彪・国台弁副主任が出席
8月16日	蔡英文総統、「新南向政策綱領」を可決。同行動準則に、「兩岸の良好な相互往来と協力」について明記
8月19日	第5回兩岸平和発展法学フォーラムがハルビンにて開催
8月22日	台北－上海都市フォーラム(双城論壇)が台北市にて開催。沙海林・上海市統一戦線工作部長が訪台し出席
8月25日	香江フォーラムが香港にて開催。郭正亮・民進党立法委員等は香港査証の発給を拒否されたため出席出来ず
8月25日	呉伯雄・元国民党主席が中国を訪問。上海にて張志軍・国台弁主任と会見
8月25日	「2016年海峡兩岸南シナ海問題」と題するシンポジウムが海南省にて開催。中国側は、兩岸は南シナ海に対する立場の相違をなくし、西沙諸島や南沙諸島での人道支援、災害救援の協力を提言
9月1日	総統府、海峡交流基金会董事長に田弘茂・元外交部長が就任する旨発表
9月1日	山東省・台湾經濟貿易交流会「兩岸協力創新フォーラム」が山東省にて開催
9月3日	習近平総書記とオバマ米大統領が浙江省杭州市で会見。オバマ大統領は「米国の『一つの中国』政策に変更はなく、如何なる台湾独立を求める行動にも反対」する旨表明
9月4日	国民党全国代表大会開催。「92年コンセンサス」の深化及び兩岸の敵対状態を終結させる平和協議の締結の積極的検討などを盛り込んだ「和平政綱」を採択
9月6日	第13回兩岸情報産業・技術標準フォーラムがハルビンで開催
9月7日	アルメニアで逮捕された台湾人被疑者グループが中国に移送される
9月7日	馮明珠・前故宮博物院院長が、北京・故宮博物院研究院顧問として招聘される
9月12日	海峡交流基金会が董・監事会議を開催し、田弘茂・元外交部長及び張天欽・大陸委員会副主任委員をそれぞれ同基金会董事長、副董事長兼秘書長として選出
9月12日	訪台中国人観光客の急減を受け、台湾の観光・旅行業者が総統府前にてデモ活動を実施
9月17日	国民党及び無党籍の県市長8名が訪中。俞正声・全国政協主席、張志軍・国台弁主任などと会見
9月20日	2016年浙江・台湾ウィークが開幕
9月20日	カンボジアで拘束された台湾人被疑者13名が中国に移送される
9月23日	国際民間航空組織(ICAO)総会への台湾招請が見送られる。大陸委員会は、中国大陸は「一つの中国」原則を理由に台湾の国際活動を妨害すべきではないと非難。中国側は、何故今回の参加が見送られたのかを民進党当局は反省すべきと表明
9月29日	民進党創設30周年。蔡英文主席は書簡において「中国による圧力に対抗し、過度の中国依存からの脱却」すべき旨表明した。国台弁報道官は、如何なる台湾独立の企図も実現は不可能として反発
10月4日	蔡英文総統が米ウォール・ストリート・ジャーナルのインタビューを受け、「承諾や善意に変化はないが、圧力に屈せず、対抗という旧い道に戻ることもない」と示した。
10月10日	総統府にて国慶大会開催。蔡英文総統が上記「四つのない」に言及
10月16日	第14回江西・台湾經濟文化交流大会が江西省南昌市にて開催
10月18日	第8回重慶・台湾ウィークが重慶市にて開幕

10月19日	第11回台商フォーラムが江蘇省淮安市にて開催
10月20日	原住民族委員会が杭州コンテンツ産業博覧会に出展。中国側主催者に「原住民族」の名称を「少数民族」へと強硬に変更されたことを受け、台湾側は退席し抗議
11月1日	洪秀柱・国民党主席が習近平総書記と北京にて会見(洪習会)。洪主席は、「和平協議」の締結による兩岸の敵対状況の終結を積極的に検討すべきなどと言及
11月2日	兩岸平和発展フォーラム(国共論壇)が北京にて開催
11月4日	第9回海峡兩岸文化産業博覧取引会が厦門にて開催
11月5日	国際刑事警察機構(ICPO)に対する台湾のオブザーバー申請が棄却される
11月10日	上海市・新北市旅行交流協力推進会が上海にて開催。侯友宜・新北市副市長が代表団を率いて訪中
11月15日	湖北武漢・台湾ウィークが武漢で開幕
11月16日	宋楚瑜・親民党主席が総統特使としてAPECに出席。習近平主席と言葉を交わす。
11月17日	第8回世界華人経済フォーラムに出席するためマレーシアを訪問した馬英九前総統の肩書きに関し、「台湾前総統」との肩書きが主催者側に削除される
11月22日	外交部「中国大陸による台湾の国際空間妨害の事例」ウェブサイトを再開
11月30日	第3回兩岸シンクタンク学術フォーラムが広西チワン族自治区桂林市にて開催
12月2日	蔡英文総統と米大統領選当選者ドナルド・トランプ氏が電話会談。米大統領及び次期大統領が台湾総統の電話に応じるのは、79年の米台断交以来初。王毅・中国外相は「台湾による小細工」として非難
12月21日	サントメ・プリンシペが台湾との外交関係断絶を発表。5日後の26日、同国は中華人民共和国と国交を樹立
12月22日	陳鎮湘・国民党副主席が関係者と共に北京を訪問。俞正声・全国政協主席と会見
12月23日	張天欽・大陸委員会副主任委員が兼務していた海峡交流基金会副董事長及び秘書長職を辞任。後任に柯承亨・元国防部副部長が内定
12月24日	国民党及び無党籍の8県市代表が、農産物特別展示及び旅行推進会に出席するため北京を訪問
12月29日	移民署が統計を発表。2016年5月20日から12月27日の期間に訪台した中国人観光客数は、前年同期比36.2%減少
12月31日	蔡英文総統は内外メディアとの記者会見において、ここ数ヶ月、北京当局は台湾に対し分断、圧力、恫喝といった以前のやり方に戻りつつあるとして批判。
2017年 1月1日	ベトナムにて拘束された台湾人被疑者4人が中国へ移送
1月7日	香港政党「香港衆志」秘書長の黄之鋒及び羅冠聡が時代力量主催によるフォーラム出席のため訪台
1月12日	駐ナイジェリア台湾代表処が首都アブジャからの移転と名称変更を要求される
1月20日	2017年中国全国対台湾工作会議が北京で開催
2月5日	2017年大陸台商春節懇親会が台北にて開催。蔡英文総統が出席
2月6日	中国籍漁船が澎湖沖で座礁。台湾側は澎湖海巡隊と海軍を派遣
2月15日	中国全国台湾同胞投資企業聯誼会の春節懇親活動が北京にて開催
2月17日	中国全国台湾研究会第7回代表大会及び理事会が北京にて開催。戴秉国・全国務委員が会長に選出される
3月8日	第4回四川・台湾農業フォーラムが新北市にて開催

3月9日	中華文化総会は蔡英文総統を同総会会長に選出
3月9日	調査局、中国籍の周泓旭を国家安全法違反の疑いで逮捕
3月19日	元民進党職員の李明哲がマカオから中国側に入境したところで当局に拘束される
3月23日	2017年ボアオ・アジアフォーラムが開催され、蕭萬長・元副総統が出席。張高麗・国務院常務副総理と会談
4月14日	李文輝・上海市台湾事務弁公室主任が訪台。柯文哲市長と「双城論壇」について協議
4月16日	中国籍の男性・張向忠が台湾旅行期間中に政治的保護を要求。19日、ツアー団と共に中国へ帰国
5月2日	蔡英文総統が「聯合報」のインタビューを受けた際、兩岸関係につき「新情勢、新答案、新モデル」に基づき、構造的な協力関係の再構築の必要性に言及
5月22日	世界保健機構総会(WHA)への台湾代表招請が見送られる
6月13日	パナマが台湾との外交関係断絶を発表。即日、中華人民共和国との国交を樹立
6月15日	第9回海峡フォーラムが開催。洪秀柱・国民党主席が出席
6月29日	大陸委員会が「香港返還20周年情報分析報告」を発表
7月2日	台北ー上海都市フォーラム(双城論壇)が上海にて開催。柯文哲・台北市長が訪中
7月3日	柯文哲・台北市長が張志軍・国台弁主任と会見
7月13日	中国人権活動家・劉曉波氏死去。蔡英文総統が自身のフェイスブックにて哀悼の意を表明
7月29日	第13回兩岸平和研究学術シンポジウムが内モンゴルにて開催
8月3日	インドネシア政府が詐欺事件に関与した台湾人被疑者2名を中国に引き渡し
8月30日	2017台北ユニバーシアード開幕。中国は個人種目選手を送らず、団体種目のみ参加。黃文濤・国台弁交流局長が代表団長として訪台
8月30日	贛台経済貿易文化交流交流会在江西省にて開催
9月9日	第20回京台科技論壇が北京にて開催
9月11日	中国で拘束された元民進党職員・李明哲の初公判
9月15日	桂台経貿合作論壇が広西チワン族自治区にて開催。郝龍斌・国民党副主席が出席
10月25日	習近平・中国共産党総書記の再任に対し、呉敦義・国民党主席らが祝電を發出
10月26日	「兩岸交流30年の回顧と見通し」シンポジウムが開催。蔡英文総統が出席
10月28日	カンボジアにて拘束された台湾人被疑者19名が中国に移送される
11月28日	中国当局に拘束された元民進党職員の李明哲氏が「国家政權転覆罪」により5年の懲役刑との判決を受ける
12月15日	スペインの裁判所、同国で拘束された台湾人被疑者を中国に移送することに同意
2018年 1月4日	中国、台湾海峡中間線付近のM503北上航路等、数本の航路の使用開始を発表。台湾側は飛行の安全への懸念などから強く反発
2月6日	台湾東部の花蓮にてM6.0の地震発生。中国人観光客9名が犠牲に
2月28日	中国が「兩岸經濟文化交流協力促進に関する若干の措置」(対台湾31項目の措置)を発表
3月16日	米「台湾旅行法」が大統領の署名を受け成立。中国は批判
3月19日	陳明通氏が大陸委員会主任委員に就任
	劉結一氏が国務院台湾事務弁公室主任に就任
3月21日	朱立倫・新北市長が中国を訪問
3月30日	賴清徳・行政院長が立法院にて「台湾独立の実務者」と発言。中国は非難

4月4日	フィリピンにて拘束された台湾人被疑者 78 名が中国に移送される
4月10日	ボアオ・アジアフォーラムにて、蕭萬長・元副総統と習近平・国家主席が会見
4月18日	中国軍が台湾海峡にて実弾射撃訓練を実施
5月1日	ドミニカ共和国が台湾との外交関係を断絶、中国と国交樹立
5月7日	世界保健機構総会(WHA)への台湾招請が見送られる
5月26日	ブルキナファソが台湾との外交関係を断絶、中国と国交樹立
6月5日	第 10 回海峡フォーラムが福建省アモイ市にて開幕
7月2日	大陸委員会が組織改編、「行政院」が名称より外れる
7月12日	連戦・元国民党主席が訪中、習近平・国家主席と会見
7月24日	東アジア・オリンピック委員会の臨時理事会が北京にて開催、2019 年 8 月に台中にて開催予定であった東アジア・ユース大会の開催取り消しを決議
8月5日	中国福建省側より金門島への通水が開始
8月21日	エルサルバドルが台湾との外交関係を断絶、中国と国交樹立
9月1日	中国在住台湾人等に対する「居住証」の発行開始
9月14日	蘇啓誠・台北駐大阪経済文化弁事処処長が自殺。台風 21 号の対応を巡る中国側のフェイクニュースが原因とされる
9月15日	教育部は来年 9 月より施行する新教育指導要領において、義務教育課程の歴史教育での「中国史」を「東亜史」に編入するとの草案を可決
9月22日	法王庁(バチカン)と中国政府が司教任命を巡る暫定合意に達し、中国任命の司教 7 名を承認
9月24日	米トランプ政権は台湾にF16 などの交換・修理用部品を売却すると議会に通知
10月10日	蔡英文・総統が双十節の式典で中国に対し「屈服も譲歩もしない」と述べる
10月14日	バチカン訪問中の陳建仁・副総統が法王の台湾訪問を要請
10月20日	台湾独立派が台北と高雄でデモを実施。「現状維持」を掲げる蔡英文政権に圧力
10月22日	米海軍の軍艦 2 隻が 22 日、中国と台湾を隔てる台湾海峡を航行
11月17日	台湾の映画賞「金馬奨」の授賞式で中国の俳優が「中国台湾」と発言し波紋を呼ぶ
11月24日	台湾の統一地方選で民進党が大敗。中国國務院台湾事務弁公室は翌 25 日に「台湾の民意反映」と声明
11月28日	米太平洋艦隊のイージス駆逐艦と補給艦の 2 隻が台湾海峡を通過
12月2日	中国の習近平・国家主席が 2017 年に台湾と断交したパナマを訪問
12月18日	中国軍の爆撃機・戦闘機が台湾周辺での活動を再開
2019 年 1月2日	中国の習近平・国家主席が「台湾同胞に告げる書」40 周年記念式典で 5 項目の台湾政策を提示し、「一国二制度」方式による兩岸統一を呼びかける
1月9日	中国人民解放軍の何雷・中将が、武力により中国が台湾を併合した場合、台湾の独立支持派は「戦争犯罪人」と見なされると警告
1月24日	米軍の軍艦 2 隻と中国軍の複数の軍機が台湾海峡と航行
1月30日	欧州議会の親台派議員ら約 20 人が兩岸の現状維持を呼びかけ、台湾の国際機関への参加を支持する声明を発表
2月3日	中国人民解放軍が台湾の武力統一を連想させる宣伝動画を公開
2月14日	呉敦義・国民党主席が 2020 年の選挙で政権交代が実現した場合、「平和協定」締結に向けて中国側と協議する意向を表明
2月27日	中国軍の H-6 爆撃機が南シナ海で飛行訓練を実施

3月5日	中国の李克強・首相は全国人民代表大会で台湾独立の動きを断固阻止すると表明
3月11日	中国の全国政治協商会議で台湾出身の凌友詩・委員が兩岸統一支持を表明
3月22日	国民党の韓国瑜・高雄市長が香港、澳門、深圳、厦門を訪問。22日には中央政府駐香港連絡弁公室(中聯辦)を訪問
3月31日	中国軍のJ-11戦闘機2機が台湾海峡の中間線を越え、台湾側空域に一時侵入
4月2日	中国軍の台湾海峡中間線超えを批判する蔡英文・総統について、中国外務省の耿爽・副報道局長が「彼女のでたらめな狂言や妄言は人を憤慨させている」と非難
4月6日	フランス海軍のフリゲート艦「バンデミエール」が台湾海峡を航行。25日に中国はフランスに抗議
4月12日	台湾内政部移民署が中台の「武力統一」を訴える中国人学者を強制送還
4月15日	H-6K爆撃機など多数の中国軍機が台湾周辺を飛行
4月16日	中国国務院台湾事務弁公室の馬曉光・報道官は台湾側に対し、「国家主権と領土を守る我々の堅い決意と強靱な能力を見くびるな」と警告
4月28日	米海軍の艦艇2隻が台湾海峡を南から北に通過、台湾国防部は「米艦船による台湾海峡の自由な通過はインド太平洋戦略を実行する任務の一環だ」と指摘
5月6日	スイス・ジュネーブで開催される世界保健機関(WHO)年次総会への台湾招聘が見送られる。中国国務院台湾事務弁公室の馬曉光・報道官は台湾がWHO総会に参加できないのは「完全に民進党当局の責任」と発言
5月21日	台湾は南シナ海の太平島で海岸巡防署の艦船による海難救助や医療チームの負傷者治療の訓練を実施
5月22日	米海軍のミサイル駆逐艦「ブレブル」と補給艦「ウォルター・S・ディール」が台湾海峡を通過
5月27日	台湾国防部は中国軍による台湾侵攻を想定した5日間の定例演習「漢光35号」を実施
6月2日	中国の魏鳳和・国務委員兼国防相が、台湾が独立を図れば「一線交えることも辞さない」と発言。台湾の大陸委員会と国防部は相次いでこの発言を非難
6月16日	香港の「逃亡犯条例」反対デモを支援する集会在台湾で開催
6月19日	中国と通謀する行為への罰則強化を盛り込んだ「国家安全法」の改正案が立法院院会で可決
6月23日	総統府前のケタガラン大通りで中国寄りの台湾メディアに抗議するデモが開催
6月25日	中国軍の空母「遼寧」が台湾海峡を北に向かって航行
7月8日	米トランプ政権が台湾への22億ドル相当の武器輸出を承認、米議会に通知。翌9日に中国外交部の耿爽・報道官は「強烈な不満と断固とした反対」を表明
7月14日	中国軍が台湾周辺で軍事演習を実施
7月24日	米海軍第7艦隊に所属するミサイル巡洋艦「アンティータム」が24日から25日にかけて台湾海峡を通過
7月31日	中国の文化観光省は国内47都市の住民に認められてきた台湾への個人旅行を8月1日から停止することを発表
7月31日	台湾の駐フィジー出先機関の名称が「中華民国駐フィジー商務代表団」から「駐フィジー台北商務弁事処」に変更
8月4日	国連組織「UN ウィメン」は同性婚を認めている国を公式 Facebook で紹介し、台湾について「中国の省の1つ」と表記。台湾外交部の抗議を受け、10日までに投稿を削除
8月7日	中国は11月に台湾で開かれる「台北金馬映画祭」に中国関連の作品の出品を見合わせ

	ることを明らかにした
8月20日	米トランプ政権は台湾に対するF16戦闘機66機の売却を承認し、正式に議会へ通知。中国国務院台湾事務弁公室の馬曉光・報道官は22日、「民進党当局は恥知らず」と非難
8月23日	中国により香港寄港を拒否された米海軍輸送揚陸艦「グリーンベイ」が台湾海峡を航行
9月11日	台湾国防部は中国軍を「わが国の国防安全に対する重大な脅威」とする「国防報告書」を発表
9月11日	中国国務院台湾事務弁公室は国家安全危害容疑で屏東枋寮郷の郷政顧問の台湾人男性を取り調べていることを明らかにした
9月16日	ソロモン諸島が台湾との外交関係断絶を発表
9月20日	キリバスが台湾との外交関係断絶を発表
10月1日	習近平・中国共産党総書記は建国70年祝賀演説で、「92年コンセンサス」および一つ中国の原則を堅持し、兩岸の平和を維持して祖国の統一を実現すると述べた
10月11日	蔡英文・総統は国慶演説で、「一国二制度」を拒絶し、「中華民国台湾」が最大の共通認識であると示した
11月5日	中国国務院台湾事務弁公室が去年に続き、26項目の台湾優遇措置を発表
11月5日	米軍のMC-130特殊作戦機1機が台湾海峡の中間線の東側を飛行
11月5日	2019年兩岸企業家紫金山サミットが中国・南京で開催
11月7日	サイバー攻防戦演習CODEが台湾と米国により共同主催
11月13日	米海軍巡洋艦Chancellorsvilleが台湾海峡で航行の自由作戦を実施
11月14日	中国国務院台湾事務弁公室が、国家の安全に危害を及ぼす活動に関わった疑いで、施正屏・元国立台湾師範大学教授を逮捕したと認めた
11月17日	中国初の国産空母がフリゲート艦などと艦隊を組んで、東シナ海から台湾海峡を南下
11月24日	中国人スパイを名乗る男性が豪州政府へ亡命を申請し、台湾の選挙への介入を自白
12月26日	17日に就役した中国初の国産空母山東が護衛の艦隊を伴って台湾海峡を航行
12月31日	「反浸透法」が立法院第三読会を通過し成立。中国側は不満を表明
2020年 1月1日	習近平・中国国家主席は中国全国政治協商会議新年茶話会での談話で、「一つの中国」原則を固持し、「92年コンセンサス」という基礎のもとで兩岸関係の平和的発展を推進していくと述べた
1月6日	中国の武漢で原因不明の肺炎が流行していることを受け、台湾疾病管制署は空港での検疫開始を指示。
1月12日	蔡英文・総統は11日夜に当選談話を発表。中国に対して台湾人の選択を正視して台湾海峡の平和のために尽力するよう呼びかけるとともに、「平和、対等、民主、対話」が兩岸間の良好な交流の鍵だと強調。米・日などの国が蔡英文・総統に祝賀を述べたが、中国側は「一つの中国」の堅持を表明
1月16日	蔡英文・総統は「反浸透法」が16日より発効すると公布。行政院は具体的な違法行為について会議で検討し、できるだけ早く国民へ説明するよう大陸委員会へ指示
1月24日	蘇貞昌・行政院長は、「中央感染症指揮センター」の感染対策レベルをレベル2に引き上げ、武漢在住の中国人について台湾に向かう飛行機への搭乗及び台湾入国を一律拒否することを発表
1月25日	交通部観光局は24日午前0時から1月31日まで中国行き団体旅行を中止すると発表。個人旅行と香港・マカオ旅行は対象外となった
2月5日	中央感染症指揮センターは6日より中国本土の中国人の台湾入国を禁止すると発表。香

	港、マカオ人については、入境後 14 日間にわたる自宅隔離が義務付けられた
2 月 6 日	中央感染症指揮センターは 6 日より香港、マカオ団体旅行を停止すると発表した
2 月 10 日	新型コロナウイルス封じ込めのため、金門-アモイ小三通バスが運行停止
2 月 13 日	大陸委員会は、台湾国籍を有する中国人配偶者の子女のみ台湾入国が申請可能であると正式に発表
3 月 29 日	中国・湖北省の封鎖解除後、同省に留まっていた 153 名の台湾人が 29 日深夜、チャイナエアライン機で台湾へ到着
4 月 20 日	台湾人を乗せた湖北チャーター第 2 便が台湾に到着
5 月 8 日	新型コロナウイルスの流行が収まっていることを受け、中央感染症指揮センターは 8 日より武漢滞在台湾人の帰国を認めると発表
5 月 15 日	中国国務院台湾事務弁公室等が「台湾企業に対する 11 項目の支援措置」を発表
5 月 20 日	蔡英文・総統は 20 日の就任演説で兩岸戦略指導原則は「平和、対等、民主、対話」であると表明
5 月 24 日	王毅・中国国務委員兼外交部長は、台湾当局が国民の福祉を顧みず「92 年コンセンサス」を否定しており、外交問題に対処する兩岸協議の門を自ら閉めていると批判した
5 月 25 日	栗戦書・中国全国人民代表大会常務委員長は、「中国共産党の台湾に対する大政方針を堅持し、一つの中国原則を堅持し、『92 年コンセンサス』の基礎の上で兩岸関係の平和な発展を推進する」と述べた
5 月 28 日	李克強・中国首相は年次記者会見で、「1 つの中国」原則と反台湾独立の立場を堅持することを再度表明。これを受けて大陸委員会は、台湾人は「1 つの中国」原則と「一国二制度」を固く拒否すると強調
5 月 29 日	中国の両会で香港版国家安全法を導入する方針が採択されたことを受け、行政院は香港人道支援行動プロジェクトチームを立ち上げた
5 月 30 日	中国「反分裂国家法」実施 15 周年座談会が 29 日、北京人民大会堂で開催。栗戦書・中国共産党人民大会委員長は、台湾独立派による分裂に断固として反対して祖国の平和的統一を推進しなければならないと強調
6 月 4 日	六四天安門事件から 31 年を迎えた 4 日、蔡英文・総統は世界にこのような忘れられる日があつて欲しくないと述べ、自由な台湾が香港の自由を守るとした
6 月 5 日	李大維・元国家安全保障会議秘書長が海峡交流基金会董事長に正式に就任
6 月 30 日	中国全国人民代表大会常務委員会で香港国家安全維持法が可決。蔡英文・総統は、中国による同法案の強行的な可決は、香港に対する 50 年間は不変との承諾の破棄であり、さらには一国二制度が実施不可能であることを証明するものだとコメント
7 月 22 日	「台北上海都市・双城フォーラム」が開催され、柯文哲・台北市長は開幕スピーチで、自身の立場は変わっておらず、真剣な態度で兩岸事務に当たっていると発言
8 月 31 日	国防部が「2020 年中共軍力報告書」を発表
9 月 16 日	兩岸経済協力枠組協議(ECFA)の継続について、中国国務院台湾事務弁公室は兩岸関係の平和的発展を維持してこそ兩岸協議をうまく進めることができると発言
9 月 19 日	第 12 回海峡論壇が 19 日夜に開幕。福建省台湾事務弁公室は 2000 名近くの台湾人が出席したと発表
9 月 21 日	海峡論壇に参加した汪洋・中国人民政治協商会議全国委員会主席が、民進党当局は中国との経済のデカップリングや文化的な断絶を図っていると批判。大陸委員会は、中国は台湾に「一つの中国」認めさせようとしており、これが台湾海峡情勢のリスクを高めている根本的な原因だと反論した

9月21日	汪文斌・中国外交部スポークスパーソンはマスコミ各社に対して「台湾は中国の分割できない領土の一部である。いわゆる海峡中間線は存在しない」と発言
9月27日	汪洋・中国人民政治協商会議全国委員会主席が「十一」レセプションで、世界に中国は1つしかなく、兩岸の同胞はいずれも中国人だと発言するとともに、92年コンセンサスを踏まえた上で台湾の各政党や団体らとの対話を行いたいと述べた。
9月30日	中国外交部に続いて国務院台湾事務弁公室も、中国と台湾は一つの中国に属しているため、兩岸間にいわゆる台湾海峡中間線は存在しないとコメントし、92年コンセンサスは兩岸関係発展における共同政治基礎だと強調した。
10月10日	蔡英文・総統が国慶演説で、兩岸の安定は双方の責任であるとし、対等で尊厳ある対話との原則の下、有意義な対話の実現に向けて動く意志があると述べた。
12月31日	習近平・中国国家主席が新年談話を発表し、台湾関連では、「一つの中国原則」と「92年コンセンサス」を堅持し、台湾海峡の安定を維持していくと述べた。
2021年 1月27日	中国国務院台湾事務弁公室が、ラクトパミン使用豚肉製品の輸入禁止を発表した。これによって、台湾産または台湾経由での肉製品の輸入も禁止するとした。
2月26日	中国税関総署が、3月1日より台湾からのパイナップルの輸入を停止することを通知。台湾産の生鮮農産物が中国から全面輸入禁止となるのは今回が初めて。
3月5日	中国全国人民代表大会が行われ、李克強・中国国務院総理が政府の業務報告を行い、兩岸関係について、「一つの中国」原則と「92年コンセンサス」を堅持し、兩岸関係の平和的発展と祖国の統一を推進するとともに、「台湾独立派」による分裂行為を断固として防ぐと強調した。
3月7日	王毅・中国国務委員兼外交部長が、中国两会(全国人民代表大会、全国政治協商会議)の外交部長記者会見で、兩岸の統一は必然であり、中国政府には台湾問題において妥協の余地も譲歩の余地もないと述べた。
3月17日	中国が「農林措置22か条」を発表した。台湾農林業者の中国進出を奨励ならびに支持する内容で、農地や林地の提供や融資面での優遇、中国国内市場の開拓等の項目が含まれる。
5月5日	G7外相会合の共同声明が発表され、台湾関連では、「台湾海峡の平和及び安定の重要性を強調し、兩岸問題の平和的解決を促す」、「世界保健機関(WHO)の諸フォーラム及び世界保健総会への台湾の意義ある参加を支持する」との内容が盛り込まれた。
5月18日	香港政府が、香港駐台湾経済貿易文化弁事処を同(18)日より業務停止とすることを発表した。
6月16日	マカオ政府が、人員の任期延長や交替が許可されなかったとの理由から、19日より駐台湾マカオ経済文化弁事処を一時閉鎖することを発表した。
6月21日	邱太三・大陸委員会主任委員がオンライン記者会見にて、香港政府が2011年に交わした弁事処の相互設置に関する取り決め文書の内容に違反し、台湾駐香港人員に対して「一つの中国承諾書」への署名を要求しており、台湾側はこの国家を矮小化する政治条件を拒否したことで駐香港弁事処のスタッフが赴任できない状況に陥っていると批判した。
7月21日	蔡英文・総統が、中国河南省鄭州市の豪雨被害の被災者に対して、慰問の意を表明した。
7月22日	中国国務院台湾事務弁公室が、中国河南省鄭州市の豪雨被害に対する台湾からのお見舞いのメッセージ及び台湾企業からの寄付や物資支援に感謝を表明した。
7月29日	中国国務院台湾事務弁公室に属する中国海峡兩岸関係研究センター主催の「2021年兩岸関係シンポジウム」が広西省南寧で開幕し、多くの台湾の学者がオンライン参加し

	た。劉結一・中国国務院台湾事務弁公室主任はスピーチにおいて、歴史の大局を認識し民族の復興と統一を積極的に推進する、台湾独立の本質と危害を認識し台湾独立や分裂の企てを打ち破る、外部勢力による干渉の企てを認識し国家主権と領土の完全性を団結して守る、大きなチャンスと未来を認識し兩岸関係の平和的かつ融合的な発展をともに促す、とする「4つの認識」を提唱した。
8月31日	国防部が「2020年中共軍力報告書」を発表
9月19日	中国が、台湾産の釈迦頭と蓮霧(レンブ)を、カイガラムシが検出されたとして、20日より輸入禁止とすることを発表した。
10月9日	中国が「辛亥革命110周年記念大会」を開催し、孫文・国民党初代主席の継承者を自称、習近平・中国国家主席は挨拶の中で、中国は「平和統一、一国二制度」の基本方針及び「一つの中国原則、92年コンセンサス」を堅持して兩岸関係の平和的発展を推進していくと強調した。
10月10日	蔡英文・総統が国慶演説で、「コンセンサスによって対立をなくし、団結して台湾を守る」と題した談話を発表し、兩岸関係の立場における我々の善意と承諾は変わらず、現状維持を主張すると述べ、現状が一方的に変えられるのを全力で阻止するとしたほか、野党に対して、中華民国と中華人民共和国は互いに隷属しない等を含む「4つの堅持」をともに守ろうと呼びかけた。
10月25日	習近平・中国国家主席が、「中華人民共和国の国連代表権獲得から50年を記念する会議」で談話を発表し、その中で同国の国連への貢献を挙げ、あらゆる覇権単独主義への反対を強調するとともに、「国連総会2758号決議」は中華人民共和国に国連におけるすべての権利を与え、中華人民共和国政府の代表を中国の唯一の合法的な代表と認めるものだと述べた。
11月11日	中国共産党第19期中央委員会第6回全体会議(六中全会)が11日に閉会し、同日夕方、会議コミュニケが発表され、台湾問題に関して「一つの中国原則」と「92年コンセンサス」を堅持し、台湾独立や分裂及び外部勢力による干渉に断固として反対すると明記された。
11月16日	中国共産党が、第19期中央委員会第6回全体会議(六中全会)で可決された「党の100年の奮闘と重大成果及び歴史的経験に関する中央の決議」を発表し、台湾関連では、中国は「一つの中国原則」と「92年コンセンサス」の堅持及び台湾独立と外部勢力による対台湾政策への干渉に反対することを再度表明した。
12月1日	台北上海双城論壇が開催され、柯文哲・台北市長が交流は断絶に勝ると述べ、また龔正・上海市長も「兩岸は1つの家族、ともにチャイナドリームを描こう」とのスローガンに再度言及した。
12月7日	兩岸企業家紫金山サミットが中国南京市で開かれ、南京と台北を結ぶオンライン会議の形がとられた。汪洋・中国人民政治協商会議全国委員会主席はお祝いのメッセージの中で、兩岸の企業関係者に対して、大義を明らかにし、台湾独立分裂勢力とはっきりと一線を引いてほしいと警告した。
12月9日	ニカラグア政府が、台湾と断交し中国と国交を結ぶことを発表した。
12月15日	中国国務院関税税則委員会が2022年関税調整プランに関する通知を発表し、その中にはECFA(兩岸経済協力枠組協議)の続行も含まれていた。
12月29日	中国国務院台湾事務弁公室が同年最後の記者会見を開き、馬曉光・同報道官が2022年に中国はより強力な措置をとり、台湾独立派による分裂の陰謀を砕き、外部勢力による干渉に断固として反対すると述べ、また、中国は兩岸の経済交流・協力の推進を続けて

	いくとともに、ECFA(兩岸経済協力枠組協議)を継続して「兩岸は1つの家族」という理念を持ち続けるとした。
2022年 1月25日	中国の台湾工作会議が開催され、汪洋・全国政治協商会議主席が出席。
2月4日	北京冬季オリンピック開会式に洪秀柱・元国民党主席が出席。
4月15日	2017年に中国で逮捕され、「国家政権転覆罪」で懲役5年の有罪判決を受けた台湾人の李明哲が刑期満了(4月14日)に伴い帰台。
5月25日	「兩岸人民関係条例」修正案が立法院で可決。台湾当局の支援等を受けて重要技術関連業務に携わる台湾人の訪中を審査制とし、また、台湾における中国資本の違法な投資活動等への加担者に対する刑事罰を強化。
6月13日	中国税関総署が、使用禁止薬物成分が検出されたとして、台湾産ハタ(石斑魚)の輸入を停止。
7月12日	第14回海峡フォーラムがアモイ市内で開幕。汪洋・全国政治協商会議主席が挨拶。
7月21日	2022年兩岸青年サミットが北京市内で開催。
7月26日	中国で「92年のコンセンサス」30周年座談会を開催。汪洋・全国政治協商会議主席が出席し、台湾当局が「92年のコンセンサス」を受け入れず、一部の国が「台湾独立」勢力の挑発を懲罰することは、台湾を災難の崖っぷちに立たせるだけと指摘。
8月1日	中国税関総署は、100社以上の台湾の食品・飲料製造・輸出業者からの輸入を停止。
8月2日	中国国防部の呉謙報道官は、ペロシ米国下院議長の訪台について、中国軍が軍事行動を展開してこれに反撃し、外部勢力の干渉と台湾独立の陰謀を断固打ち砕くと発表。また、中国軍東部戦区は、台湾北部、南西部、東南部の空域での海軍・空軍演習、台湾海峡での長距離火力実弾射撃、台湾東部海域での弾道ミサイル発射訓練の開始を発表。
8月3日	王毅・国務委員兼外交部長がペロシ米国下院議長の訪台について談話を発表し、ペロシ訪台は米国こそが台湾海峡の平和と安定にとっての最大の破壊者であることを証明したとし、「台湾を以って中国を抑え込む」企みは必ず失敗すると強調。
8月3日	中国税関総署は、台湾産柑橘類等から有害生物が検出されたとし、即日、台湾産柑橘類、太刀魚、冷凍アジの輸入停止を発表。また、中国商務部は、中国から台湾への天然砂輸出の暫時停止を発表。
8月3日	台湾人の楊智淵が、台湾独立活動に従事したとして、中国浙江省温州市において中国当局に身柄を拘束
8月4日	台湾国防部は、中国軍が4日午後台湾の北部、南部、東部の周辺海域に向けて11発の「東風」弾道ミサイルを発射したと発表。
8月10日	中国当局、台湾に関する22年ぶりの白書となる「台湾問題と新時代の中国統一事業」白書を発表。

8月10日	夏立言・国民党副主席が訪中(8月27日まで)。
8月16日	中国当局は、台湾の蕭美琴・駐米代表、顧立雄・国家安全会議秘書長、蔡其昌・立法院副院長、柯建銘・立法委員、林飛帆・民進党副秘書長、陳椒華・時代力量主席、王定宇・立法委員の7名を「頑迷な台湾独立分子」と認定し、台湾民主基金会、国際合作發展基金会の執行長又は秘書長を含め、中国大陸・香港・マカオへの入国禁止等の制裁対象とすることを発表。
9月15日	中国共産党中央台湾工作弁公室編著『中国共産党と祖国の統一』出版。
9月24日	中国の王毅・国務委員兼外交部長は、国連総会演説において、国連総会決議第2758号に基づき、台湾の代表は駆逐され、政治、法律、手続きのいずれの点でも国連及び国際機関における中国代表権問題は徹底的に解決されたとし、「二つの中国」や「一つの中国、一つの台湾」を作り出そうとするいかなる余地もないと強調。
10月16～22日	中国共産党第20回党大会開催。習近平総書記は、16日の政治報告において、「台湾問題の解決に関する新時代の党の総体的戦略」を堅持・貫徹し、兩岸関係の主導権と主動権をしっかり握り、祖国統一の大業を揺ぎなく推進すべしと呼びかけるとともに、最大の誠意と最大の努力で平和統一の実現に努めるが、外部勢力の干渉と極めて少数の台湾独立分子の活動に対しては、武力行使の放棄を決して約束せず、あらゆる必要な措置を採る可能性を留保すると指摘。
11月19日	2008年に中国から台湾に寄贈されたパンダ「團團」が台北動物園で死亡。
11月26日	中国国務院台湾事務弁公室の朱鳳蓮報道官は、台湾地方統一選挙結果について、平和と安定を求め、良い暮らしを送りたいという台湾内部の主流の民意を反映したものであり、引き続き兩岸関係の平和的発展、融合的発展を推進し、台湾独立と外部勢力の干渉に断固反対していくとコメント。
12月7日	江沢民・元中国国家主席追悼大会が北京で開催され、習近平国家主席は、哀悼の辞において、江沢民氏は国家主席時代に兩岸間での「92年のコンセンサス」の合意を形成し、台湾独立反対の重要な闘争を展開したと指摘。
12月7日	香港で「92年のコンセンサス」30周年展覧会が開催され、劉結一・国務院台湾事務弁公室主任がビデオメッセージで挨拶。
12月8-9日	中国税関総署、中国当局への登録が未了又は登録に不備があったとし、台湾の関係業者数百社からの水産物(サンマ、イカ等)及び酒類(高粱酒・ビール等)の輸入を停止。
12月24日	中国国務院台湾事務弁公室の朱鳳蓮報道官は、米国で「2023年国防授權法」が成立し、台湾に5年間最大100億米ドル(約1兆3272億円)の軍事支援を認める内容が盛りこまれたことについて、強い不満と断固たる反対を表明。